

国立大学法人 岩手大学

事業名	国立大学法人 岩手大学						
実施期間	平成27年1月11日～12日						
場 所	岩手山青少年交流の家						
参加者	外国人留学生	地域住民	学生	スタッフ	関係者	来場者	合計
	16	40	13	9	2		80 名

<実施内容>

岩手、青森、宮城、福島の、日ごろそれぞれの地域に散在している「外国につながる子どもたち」が集まり、子どもたちの日本語や教科の勉強を、留学生と日本人学生が手伝いました。

また、一緒にスポーツをしたり、雪遊び、けん玉、折り紙、手遊びなど、日本の伝統的な遊びも楽しみました。

日ごろ、ことばや文化が異なる日本の学校で一人一人で頑張っている「外国につながる子どもたち」が、1年に1回集い、留学生、日本人学生と交流する貴重な機会となりました。



岩手山の麓で雪あそび



日本人学生が「先生」になって、けん玉教室



日韓二言語の読み聞かせ。韓国人留学生が大活躍！



まじめに学習活動。冬休みの宿題は留学生にとっても難しい?!

<参加者からのコメント>

サンディーブ・ヤダヴさん(インド)/Sandeep Yadav

この2日間で、すっかり忘れていた自分の子どもの頃のことを、この合宿で子どもたちと出会って思い出しました。とてもなつかしくて嬉しくなりました。子どもと雪遊びしたり、夜一緒に泊まって、いろいろな質問に答えたりしたことも、とても楽しかったです。子どもにアイスクリームが食べたいとねだられたのに、自分にもお金がなくて買ってあげられなかったことも、いい思い出になりました。とにかく、何もかもがとても楽しかったです。また子どもたちと遊びたいと思います。

バリタ マシリアさん(インドネシア)/Baliita Masyri'ah

今回のキャンプは初めてのことであったので、ちょっと不安な気持ちがあった。キャンプ中に仲間になれるか、子どもたちをちゃんと世話できるか、ちょっと心配だった。大学をバスで出発し、一時間ぐらいでキャンプの場所に着いた。真っ白な雪を見て、素敵な景色に感激した。いろいろなところから来たキャンプの参加者に会って、最初は緊張したが、皆、親切で、子どもたちもかわいいし、優しい仲間になった。初めて雪で遊んだ時は本当に楽しかった。子どもたちと一緒に遊んでいるうちに自分も子どものようになってしまった。そして、子どもたちの勉強を手伝ったときは、自分も勉強になった。漢字や歴史などを勉強した。小学生の勉強なのに、私にとってはちょっと難しいと思った。でも、元気で頑張っている子どもたちを見ると、私も留学生として頑張るしかないと思った。たった2日間のキャンプだったが、一緒に遊んだり勉強したり食べたり話し合ったりしたことは、いい思い出になった。キャンプの経験は本当に楽しかった。